

平成30年度学校関係者評価

稲美町立天満東小学校

1 学校教育目標

真剣に学び、心と体を鍛え、たくましく生きる東っ子の育成

2 めざす子ども像

- ☐ 積極的に学習する子
- ☐ 進んであいさつをする子
- ☐ きまりを守り、人となかよくする子
- ☐ 元気に運動する子

3 学校経営方針

- 1 教育目標の具現化に向けて、全教職員が共通理解し協力する。
- 2 教職員の指導力向上を目指して、研修に励む。
- 3 地域の未来を担う子どもを育てるため、家庭・地域と協力する。

4 総合的な学校関係者評価

・各分野における学校自己評価は概ね達成しているため、取り組み内容は高く評価しています。一部においては達成できていない項目や保護者からの意見や改善案等をふまえながら、さらなる教育の質を高める取り組みをお願いします。

・学校評価アンケートの回答が難しく感じました。家でよく話す子もいれば話さない子もいるので、学級通信での情報・一言は重要だと思います。

・一人ひとりに向き合える先生と、おいしい給食、お友達との関わり、きれいな学校、会社ではありますが、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)がしっかりしている印象です。たくさんの行事を行っていく中で、事務的ではなく、心の育みを大事にしていると感じました。

・学習面だけでなく生活全般についても様々な経験や体験があり、児童たちが成長していると思います。ご指導ありがとうございます。

・全般を通じて先生方と児童のコミュニケーションがよくとれており、何事にも一生懸命取り組まれ得ている印象である。

アンケート結果による学校自己評価の基準

- | | |
|---------------|-----------|
| A 十分達成している | 達成率90%以上 |
| B おおむね達成している | 達成率85～89% |
| C あまり達成できていない | 達成率80～84% |
| D 達成できていない | 達成率79%以下 |

5 評価項目ごとの学校自己評価

分野	評価項目・取り組み内容	自己評価	○は取組状況、△は改善策、課題	学校評議員からのコメント	アンケート肯定評価(%)			
			学校の取組状況・改善策		職員	保護者	児童	平均
学校運営	1 情報発信 ・学校は、学校通信・学年だより・ホームページ等で、日々の教育活動をわかりやすく伝えている。	A	○年間を通じて、学級通信、学年だより、学校通信、学校ホームページ(HP)で日常、行事や学習の様子、学校、担任の思いや考えなどを伝えている。HPはこまめに更新して楽しみにしてもらっている。	●情報発信はわかりやすく発信されていると感じ取れるので今後とも継続してもらいたい。写真がたくさん載せてあり、私も楽しみにしている。よく更新されて学校の様子がよくわかる。毎月、学校通信「つばさ」をいただき、学校の様子がよく伝わってくる。	100	100	88	96
	2 学校行事 ・学校行事の内容は適切である。	A	○児童が練習や準備の成果を発揮し、素晴らしい演技や学習の取り組みの様子を披露できている。職員も児童と一緒に目標に向かって取り組んでいる。 △2学期に行事が多い。春に運動会はどうか。2学期に授業参観を取り入れて欲しい。	●職員も児童と一緒に真剣に取り組んでいる様子がうかがえた。参観日に低・高学年と時間帯が別れていたのがゆっくり観られた。2学期は忙しい。児童の成長を感じることができます。運動会・音楽会などで児童たちの一生懸命さが伝わってくる。▲運動会はこのまま秋開催で、2学期の授業参観は行事が多いのでこのままでよい。学年の総まとめとして、音楽会は3月にしてはどうか。	100	99	95	98

学校運営	3 清掃美化 ・学校は、美化に努め、校舎内外のものが整理整頓されている。	A	○児童集会での呼びかけや清掃時の放送・教師の率先垂範で、「きれいな学校」の目標達成に向かって毎日取り組んでいる。	●常に校舎内外を見る限り整理整頓がなされている。トイレがいつもきれい。文句なしの美しさ。子ども達も片付けの癖がついていい良いこと。いつもきれいだと感じている。きれいに整理整頓されている。	100	99	94	98
	4 教育相談体制 ・学校は教育相談(保護者の意見を聞く場)の体制を整え、適切に対応している。	A	○毎月の「教育相談日」だけでなく、保護者の希望を聞きながら、きめ細かい相談を行っている。 ○気になる児童の保護者には健全な成長を共に支える視点に立って、担任の方から保護者へ相談をはたらきかけている。	●母親の立場ですごく助かる。先生から声をかけてもらえるのも良かった。	100	95	92	96
	5 安全管理・教育 ・学校は、登下校の安全指導や学校事故防止に努めている。	A	○毎学期始めの登下校指導、不定期の教師による下校パトロールを実施し、安全な登下校の維持と通学路の危険箇所の発見に努めている。問題のある登校班には地区担当教員から直接注意するとともに、地区役員さんや保護者に連絡して協力連携して取り組んでいる。 ○毎月「子ども安全の日」には校内の危険箇所がないことを確認している。また、危険が予想される場合にはすぐに対応している。	●学校は、安全指導や事故防止に努めている。交通指導員や地域の方たちの協力が大きい。良いことだと思う。朝の集団登校、下校時の地域のボランティアによる“見守り”等、地域連携がうまく機能している。▲児童に伝えていることを保護者にも伝えるような書面をいただきたい。交通事情が日々変化しているので、引き続き危険箇所の確認をお願いしたい。通学路にオープン開渠や狭小道路などの危険箇所が潜んでいるので、役場へ道路整備の改善や交通安全協会へ通学時間帯の交通規制を要請してもらいたい。	100	94	96	97
教育課程	6 授業 ・学校は、授業方法(説明・板書・発問等)を工夫して、わかりやすい授業をしている。	A	○昨年までわかりやすい授業である「授業のユニバーサルデザイン化」に3年間取り組み、今年は道徳の授業力の向上をめざして全教員が年1回の研究授業に取り組んでいる。 ○支援の必要な児童に配慮した学習環境作りを行っている。	●先生方の向上心はいつも感じている。他の目に見える教科とは違い道徳という目に見えないものは難しいと思うが、あいさつやゴミを拾うなどのことから、子ども達はきちんと出来ていると思う。授業の工夫がよくされている。	100	98	93	97

7 家庭学習	A	○全学年を通して、宿題の量と内容が適切になるように共通理解をしている。 ○宿題が定着していない児童や、学習に課題のある児童には家庭の協力を求めて指導している。 △学年によりばらつきが指摘されている。	●クラスによってばらつきを指導されている点については、当然担任の先生が違うので、多少のばらつきはやむを得ないと感じている。家族にもクイズを出してくれるので解けるとうれしい。▲ばらつきがあると聞いている。音楽会の練習が家庭にとって負担。正解がわからない。	100	98	89	96
8 生徒指導	A	○いじめの未然防止と早期発見について全教員で共通理解して取り組んでいる。また、全校集会で生徒指導担当が全児童にいじめ防止を呼びかけている。 ○生徒指導では、特に担任だけの指導にならないように、生徒指導担当を中心に協力して指導できる体制を作っている。 ○日常から頑張りが認められる児童は褒め、ルールが守れない児童には毅然とした態度で接している。	●いじめ未然防止と早期発見は、共通理解して取り組んでいるので継続してもらいたい。いじめ等学校だけの問題ではなく、家庭での指導も大切だと思うので、やっぱり親と先生とのコミュニケーションが大事だと思う。その点も心の相談日を設定してもらえるので大丈夫だと思う。▲念のために匿名の「いじめアンケート」をとってはどうか。	100	94	97	97
9 勤労教育	A	○高学年の児童には学校のリーダーとして自覚させ、児童会を運営させて責任感や達成感をもたせている。 ○日頃から、各学級では児童全員に係の役割を与え、積極的に責任を果たすように励まし、達成できたら褒めている。 ○各委員会活動で、積極的に活動した。 ○PTCAフェスティバルのチャレンジランキングでは、全児童が役割を決め、責任をもって取り組めた。	●学校は、学年に応じた役割を与え、責任感や達成感を経験させて勤労意欲を育てている。特に、PTCAフェスティバルで上級生が下級生を連れてお世話する様子うかがえた。特に高学年の責任感が良いと思う。募金活動などいろいろなところで見えてくる社会の一員という心が気持ち良い。	95	97	98	97
10 道徳教育	A	○生命や一人ひとりを大切にすることを道徳の授業だけでなく、日常の生活や行事の場面でも指導している。 ○今年の授業研究テーマとして、ねらいからぶれない道徳の授業づくりに取り組んでいる。 ○今年度初めて取り組む「評価」について研修を重ねている。	●大切なことだが、確かに評価することは難しい。	95	96	99	97

教育課程	11 読書教育	A↑	○全校で読書キャンペーンを実施して、読書活動の啓発を行った。 ○図書委員会で読書週間の呼びかけを行った。 ○定期的に町立図書館司書を招き、読み聞かせ活動を実施している。 △読書の苦手な子もいるので、さらに読書の啓発活動を進めていきたい。	●全校で読書キャンペーンを実施して読書活動の啓発活動を続けてもらいたい。あまり読書をしないので、ビンゴで景品などの啓発活動が良かったと思う。▲苦手な子どもにもさらに啓発活動に取り組んでももらいたい。読書の苦手な子に、学年に応じた本を読ませるのは難しいと思うので、絵本や大好きなシリーズで「おもしろい」や「ワクワク感を味わう」というのはどうか。本が好きになれば進んで本を手取るようになる。	95	94	81	90
	12 体験活動	A	○5年生は「自然学校」で、鉢伏高原の豊かな自然の中で、協力して登山や飯ごう炊さんなど多くの体験をした。 ○3年生は「環境体験学習」として天満大池でアサザの植え付けなどに参加した。 ○6年生の茶道体験、4年生の琴演奏体験、2年生の赤ちゃん先生、1年生のサツマイモ収穫体験など、全学年でさまざまな体験活動を実施し、児童の心の成長や学ぶ意欲の育成に努めている。	●心の成長や学ぶ意欲の育成が感じ取れる。たくさん体験・見学をさせてもらって喜んでいる。いろいろな体験は、人生の糧になるのでありがたい。2年生の赤ちゃん先生は命の勉強になるので良いと思った。	100	98	98	99
	13 英語活動	C	○高学年は週1回、中学年は月2回、低学年は月1回の英語活動を実施している。 ○ゲーム形式の授業や、わかりやすいコミュニケーションを積極的に行い英語に容易に取り組めるようにしている。 △英語の教科化へ向けて、準備を進めており、学年に応じて児童が興味をもって取り組めるように工夫することが求められる。	●今年、初めて英語の授業を見せてもらって、ゲーム形式で単語を使い(言い)わかりやすく絵やジェスチャーでふれあっているのを観て楽しそうに思った。英語の授業はすごく楽しいと言っていた。勉強というよりも、ひとつのコミュニケーションツールのようにできれば、もっと楽しめるようになる。外国人の先生はすごく楽しいと言っていたので英語が好きになっている。これから期待待ちだ。▲英語の重要性を身にしみて実感しているため、早い段階に英語の教科化へ向けた取り組みを実践してもらいたい。英語教育は、小さい時からのネイティブな生の英語に慣れ親しみ、リスニングの力を身につける必要がある。さらに外国人教師の生の授業が進められるように希望する。	100	77	74	84

重点課題	14 あいさつ ・学校は、学校や家庭、地域で自分から進んであいさつをする子を育てている。	A	○「日本一のあいさつをめざす」を目標に取り組んでいる。毎月の全校集会で、学校長からあいさつ優秀班の表彰と呼びかけを行っている。 ○横断幕を掲示し、全教員がさまざまな場面であいさつの仕方や大切さを指導している。 ○児童会役員が朝の校門に定期的に立ち、大きな声であいさつを行っている。 ○地域の方から、児童のあいさつの向上が見られるという声が聞こえている。	●「日本一のあいさつをめざす」を目標に掲げ、実践している。目に見えて結果も得られているようなので、今後も継続してもらいたい。あいさつが基礎だと思うので、天満東小の取り組みは間違っていないと思う。本当に良くあいさつができています。地域においても、子ども達が大きな声であいさつをしてくれ、うれしく思う。 ▲地域の中であいさつは向上しているが、もう一段「いつでも、どこでも、自分から」のあいさつになって欲しい。「さわやか賞」の基準は。	100	84	93	92
	15 仲間づくり ・学校は、友だちとなかよく協力できる子を育てている。	A	○学校行事や児童会行事で、力を合わせる体験や協力する機会を多く設けており、児童が協力できるようになっている。 ○全教員で普段から協力の大切さを呼びかけている。	●日々の生活の中でも大事だし、行事等で団結できるのは良いことだ。	100	96	96	97
	16 聞く力 ・学校は、人の話をよく聞く子を育てている。	A	○授業だけでなく集会や式、行事でも、指導者が前に立った時は、全児童が静かに話が聞ける状態になったことを確認した後、話をするようにしている。 ○特に、式や全校集会では児童の聞く姿勢がきちんとできて良い習慣になっている。	●授業だけでなく集会や式、行事でも、全児童が聞く姿勢が出来ていると感じているため、今後とも継続してもらいたい。下校時に、先生のことばを待っている姿を見たが、みんなが静かになってさようならのあいさつを大きな声でした時は、すごく気持ちよかった。先生の話聞く姿勢がよくできている。	100	88	96	95
	17 伝える力 ・学校は、自分の思いを話したり書くことで、他の人に伝える子を育てている。	A↑	○朝や終わりの会を利用してスピーチに取り組んでいる。新学習指導要領の趣旨をふまえ、総合や道徳・教科の発表では自分の思いや考えが聞き手にわかりやすく伝わるように指導している。 △苦手な子には適切な場を設けたり、話す場を増やす工夫をしている。また、話すだけでなく、自分の思いや考えを的確に書く方法も指導している。効果的に励ましたり褒めることで上達させたい。	●自分の思いを他の人に伝えることの難しさは感じている。スピーチは良いと思う。▲大きな声で、はっきりと発言する習慣をつけてもらいたい。短くまとめて、伝えたいことを声に出すことは、大人でも難しいのでたくさん練習させて欲しい。性格的な面も影響しているが、継続して話す機会を増やし、少しでも克服できるような取り組みを今後とも継続してもらいたい。	100	87	85	91